

補助金共同申請事例 (株式会社マルエスフリージングジャンクション様)

補助金とリースを組み合わせ、初期費用を抑えた設備更新を実現！



株式会社マルエスフリージングジャンクション様は、食品原料を主に取り扱う物流会社です。本社倉庫内は、常温(+10℃)・低温(+5℃)・冷蔵(-20℃)・冷凍(-30℃)の四温度帯に分かれ、ファーストフードのソース類、パウチされたフルーツ、冷凍ポテトなど、あらゆる食品の一時保管が可能。お客様の幅広いニーズに対応できる設備となっています。

今回、株式会社マルエスフリージングジャンクション様は、三菱電機クレジットと補助金の共同申請を実施。「エネ合」と「補助金活用リース」を組み合わせ、本社倉庫の冷凍・冷蔵設備と照明設備の更新に活用しました。

お客様：株式会社マルエスフリージングジャンクション様
所在地：山梨県市川三郷町大塚1125
補助金：2019年経済産業省 エネルギー使用合理化等事業 支援事業(設備単位)
納入機器：R410Aコンデンシングユニット×10、ユニットクーラー×26、空調冷熱総合管理システム AE-200J×1、LED照明×200
設備施工：株式会社トーレイ様
設備更新：2019年12月

お客様の声

リースを使用して10年間の出費を平準化。電気料金も削減できて助かっています。



株式会社マルエスフリージングジャンクション
取締役副社長
佐野 康志 様

既存冷凍機で使用していた冷媒R22が2020年に全廃となることを受け、約5年前から補助金を活用した設備更新を考えていました。今回、三菱電機クレジットさんとの共同申請によって、エネ合の採択を受けることができ、大変嬉しく思っています。

エネ合は設備単位だと補助対象が設備費だけとなりますが、それでも費用総額約8,000万円のうち1,200万円ほどは補助金で賄うことができました。残りは三菱電機クレジットさんの補助金活用リースを使用して10年間の出費を平準化。約10年で償却できる予定です。高効率機器への更新により、電気料金は前年同月比で月20~25万円ほど削減できました。倉庫の結露も減り、現場スタッフも喜んでいました。

施工会社の声

三菱電機クレジット株式会社と協力、早めの準備で補助金申請はスムーズに完了。



株式会社トーレイ
営業開発部 営業企画課 課長
高野 晴彦 様

補助金申請に関して、最も時間がかかったのは写真と図面の精査です。特に照明は点数が多く、撮影に苦労しました。高所作業車5台、スタッフ6~7名体制で、工場スタッフのいない夜間に少しずつ撮影。今回は補助金の公募期間前から申請準備に取り掛かることができたので、スケジュールに余裕があった助かりました。

なによりも有難かったのは、申請書類の準備を三菱電機クレジットさんが担当してくれたことです。設備単位は申請が比較的簡易なので、コンサルティング会社を介さずに書類を作成、おかげで準備期間を短縮できました。早め早めの行動で申請はスムーズに完了。無事採択を受けることができ、本当に良かったです。